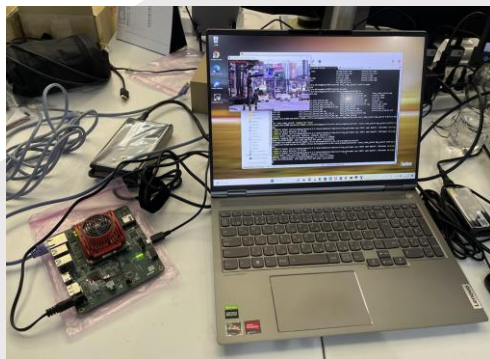




# FPGA AI デザイン ハッカソンへのお誘い

## 目的

本デザインハッカソンは、東大 Agile-X 革新的半導体技術の民主化拠点プロジェクト

(<https://www.agile-x.t.u-tokyo.ac.jp/>) による半導体設計ハッカソンを一般に試行することで、半導体への興味を持つ学生を増やすことを目的とします。

## テーマ

YoLo-v3 を FPGA ボード KV260 に実装し、性能と精度を競います。具体的な内容については Agile-X の Web サイトを参照ください。

## 連絡先

ハッカソン実行担当 天野英晴  
[hunga@dlab.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:hunga@dlab.t.u-tokyo.ac.jp)  
情報は、随時  
<https://www.agile-x.t.u-tokyo.ac.jp/hackathon> に掲示します。

## 方法

- ① 参加者は高校生から修士大学院生までを想定しています。本ハッカソンは、ハードウェア設計の経験が少ない学生を対象としますが、プロの参加を拒みません。1-3 人でグループを組み **Google Form(4 月 1 日にオープン)より参加登録を 4 月中**に行います。先着 16 グループで締め切ります。
- ② 設計用データの入った KV260 ボードとケーブル類が連休明けに送付されてきます。高額なものではないですが、国家プロジェクトで購入したボードですので誠意をもって大切に管理してください。ホスト PC (Windows PC) は各自ご用意ください。実行環境を後に Web に掲示する方法に従ってセットアップしてください
- ③ 参加者は、公開されている Wiki (<https://github.com/takgto/utokyo-chipathon2023/wiki>) に従って YoLo-v3 を動かして、動画の認識を行ってください。その後、ヒントを見ながら最適化してください。
- ④ **6 月 10 日、電子情報通信学会、情報処理学会連合研究会 HotSPA の会場**で本番動画に対して認識を実行していただきます。HotSPA へ参加できない方は事前にデータを送っていただき、運営側で実行します。
- ⑤ 高い性能を良い精度で実現したグループを表彰します。
- ⑥ 貸与した器材は、会場で回収します。参加できなかった方は、返送をお願いします。

2025.3.10